

貸出管理回収実務研修

研修目的・ゴール等	貸出債権の管理・回収にかかる法務関連知識・実務知識を理解のうえ、業務が実践できるようになる
想定受講対象者	信用事業部門の審査・管理回収・自己査定担当部署の担当者および管理者 信用事業部門の融資担当者および管理者
適正人数	推奨：30名（上限：40名まで）
研修日程	1日～2日（1日でも可だが、ケーススタディー等を加え、1日半～2日とする運用も可） （1日開催の場合 9：30～17：00）
研修講師	農林中金アカデミー

【研修プログラム】

	10	11	12	13	14	15	16	17	
研修内容	事前課題の採点・解説 開講挨拶・オリエンテーション 講義 ・貸出債権管理と相続 ・貸出債権管理回収の基本	講義 ・時効の管理 ・延滞債権の管理 ・貸出債権の期日管理	(昼食)	セッション確認テスト①	講義 ・差押手続 ・仮差押え・仮処分 ・抵当権実行	セッション確認テスト②	講義 ・自己査定の要点 ・法的倒産手続	セッション確認テスト③ 理解度確認テスト	まとめ・閉講挨拶
時間	10 10	55	70	60	15	60	15	70	15 20 20

事前課題	あり	◇事前課題問題の実施（当日持参）※講師と事前に実施有無を確認されたい
事後課題	なし	

- ★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、地域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
- ★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、その際は原則30分以内までとし（コロナ禍要因は除く）、事前に講師と調整のうえ、「必須」としているセッション以外での短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会したい）。
- ★ 事前課題問題、セッション確認テスト、理解度確認テストについては、講師と事前に実施有無を確認されたい。
- ★ 1日研修として設計しているが、学習項目が多く、研修時間がタイトになる可能性がある。このため、ケーススタディー等を加え、1日半～2日とする運用も可（地域の状況等を踏まえ、ご検討いただくことを想定）。